

「ソーラーバッテリーハウス」

SBH45H

ハウス輸送・設置手順書

ご使用にあたって

この取扱い説明書では、お客様が 商品を 安全に正しくご使用いただくための 重要な内容を 記載しております。

■ 表紙	_____	P1
■ 目次	_____	P2
■ 重要なお知らせ	_____	P3
■ 警告用語の種類と意味	_____	P3
■ 特に注意していただきたいこと	_____	P4~5
■ 仕様書	_____	P6
■ 説明（輸送時/吊上/フォークリフト/設置）	_____	P7~8
■ 説明（アース工事）	_____	P9
■ ご使用上の注意	_____	P10

■ 重要なお知らせ

ご使用の前に

安全のために、必ずお守りください。

「ソーラーバッテリーハウス SBH45H」をご使用 する場合は、必ずこの取扱い説明書に従ってください。

この取扱い説明書 記載事項の他にも、あらゆる危険が想定されます。設置場所、使用形態によっても 危険度は変わりますので、万一の事故を未然に防ぐため、この取扱い説明書の記載事項に限らず、安全対策に関して十分な配慮が必要です。

本書の説明、使用、イラスト等は本書を作成した時点のものです。

商品改良の為予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

■ 警告用語の種類と意味

注意事項は 危険度の高さや 損害の大きさと 切迫の程度に従って、次の3段階に分類しています。以下の警告用語の持つ意味をよく理解して、本書の内容(指示)に従ってください。

 危険	 警告	 注意
この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者などが死亡または 重傷、また周囲へも危険が、 <u>切迫して</u> 生じることが想定されます。	この表示を無視して 誤った取扱いをすると、使用者などが死亡または 重傷を負う危険性が想定されます。	この表示を無視して 誤った取扱いをすると、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険性 又は物的損害の発生が想定されます。

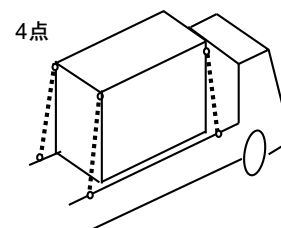
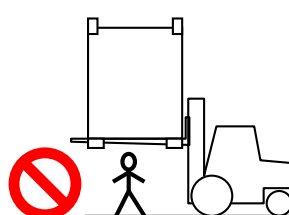
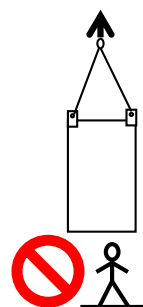
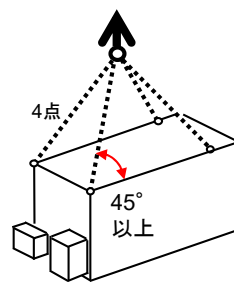
また上記以外にも「お願い」など特に注意を促したり 強調したい情報など説明を行っていますので、ご理解をお願いします。

■ 特に注意していただきたいこと

⚠ 危険

移動（移設）設置・運搬 に際し 転落・下敷きの危険性

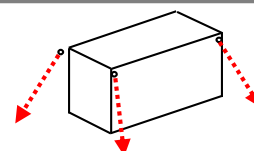
- ソーラーバッテリーハウスは偏重心であるため、バランスが取れる位置に吊り金具を設定しています。ハウス内に積載物を入れての吊り上げは、バランスが崩れ危険ですので、絶対に行わないで下さい。
- クレーン吊上げでは、必ず 屋根 の吊り金具 4ヶ所より $\phi 12\text{mm}$ 以上 4M 程度のワイヤーで、金具に極端な負荷をかけない 吊上げを行ってください。
- クレーン 吊上げ作業中 吊荷の下には 絶対に入らないでください。また クレーンブーム下への侵入も避けてください。
- フォークリフト作業中 荷揚げ下 及び作業半径には入らないでください。また フォーク長さは2.5m以上のもので、根元いっぱいまで差込んで、持ち上げてください。
- トラック運搬時は 必ず屋根4隅の金具 4ヶ所より、荷台に向かって 固定をし、荷動きが無いことを確認してから 搬送してください。



⚠ 警告

保管・設置 に際し 転倒・破壊・落下の危険性

- 地震や台風などの強風にさらされても 転倒しないように、トラクションワイヤーによる 固定 及び アンカー固定 を実施してください。（不等沈下のない地面であること）
- 屋根上、ソーラーパネルの上に物を置かないで下さい。



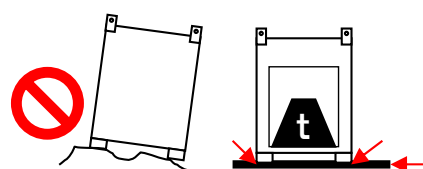
設置・使用 に関し 火災 爆発 の危険性

- 危険物倉庫(少量含)ではありませんので、引火性 揮発性 発火性 のものは保管しないでください。
- 庫内での火気の使用 たき火等は、絶対に行わないでください。

⚠ 注意

設置・使用 に際し 製品破壊に注意

- 設置は大雨などで地盤がゆるくならない 不等沈下のない 水平 な場所に設置してください。また 支柱下 地面との接点 個所は隙間なく均一に 接するようにしてください。



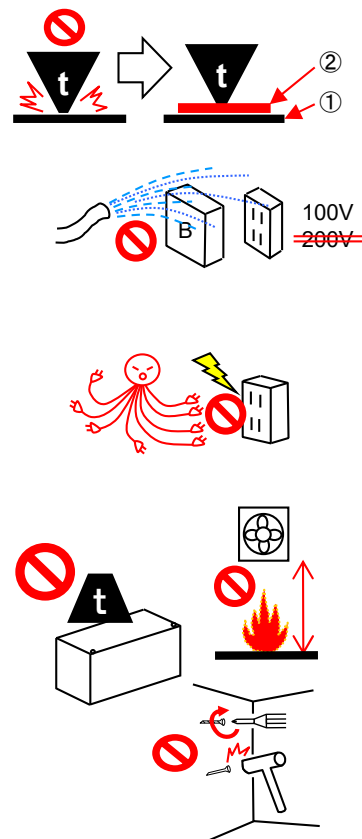
■ 特に注意していただきたいこと



注意

使用 に 際し 製品破壊・火災・漏電・雨漏れ注意

- クレーン 吊上げ能力が十分であることを確認頂き、作業してください。
- 床板 1点に 荷重が集中するような 重量物は、床板 破損の原因となります。下敷き 合板を入れるなどの 荷重分散措置をとってください。
- 電気関連部分（分電盤・配線ジョイント・コンセント・照明・換気扇）への水掛け洗浄及び分解・改造は火災・感電・発火の原因となりますので、注意ください。
- 照明器具の真下で温度の高くなるもの（ストーブ等）を使用しないでください。
- コンセントは定格出力を確認の上、容量以内で使用してください
- 換気扇の真下1m 横50cm以内での火気、給湯器の使用は行わないでください。
- 屋根上のソーラーパネルに物を載せないでください。またソーラーパネルの上を歩行しないで下さい。破損の原因となります。
- 屋根・壁・太陽光パネルにビス、釘などの打ち込みは行わないでください。また分解・改造は行わないでください。雨漏れ 破損の原因となります。



使用 に際し 保管物への影響に注意

- 室内は住宅などのような防水・断熱・気密・防音などの性能はございません。ご使用状況やご使用環境に影響されますので、ご注意ください。
- 製品は 鉄骨 鉄板にて製作されており、結露の影響が出易い部分がございます。冬場の室内結露につきましては、特に湿度を上げすぎず、換気を十分にしてお使い願います。

その他

- 用途は「仮設用」です。誤用は避けてください。
- 設置に際し、周囲環境を含め 安全確認が出来ない場所へは、設置しないでください。
- 組立てには、周囲に人・物がないことを確かめてから開閉してください。ケガ・破損に注意ください。
- 強風・暴風・豪雨・豪雪時には使用をお控えください。
- アルミ製 建具サッシには落下防止の外れ留め金具が設置されております。組立て解体、輸送に際して、その外れ留めが効き、障子が外れないことを確認してください。
- 電気引込、通電作業に関しては、有資格者が必ず行って下さい。

■ アース工事

※有資格者が工事を行ってください

ソーラーシステム /ソーラーパネル アース工事 D種接地工事

ソーラーシステム(分電盤から)のアース線5.5sq、ソーラーパネルのアース線3.5sqの2種類があります。

それぞれ、アース工事(D種接地工事)を行って下さい。

※アースはまとめずに、分けてアース工事をして下さい。

・ソーラーシステム(分電盤)

アース線5.5sq アース棒

・ソーラーパネル(架台)

アース線3.5sq アース棒



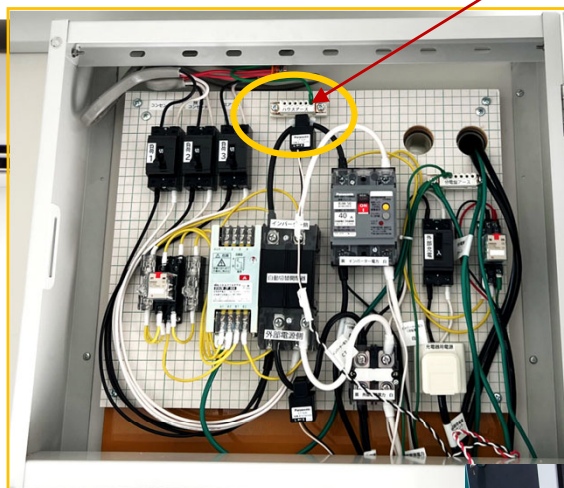
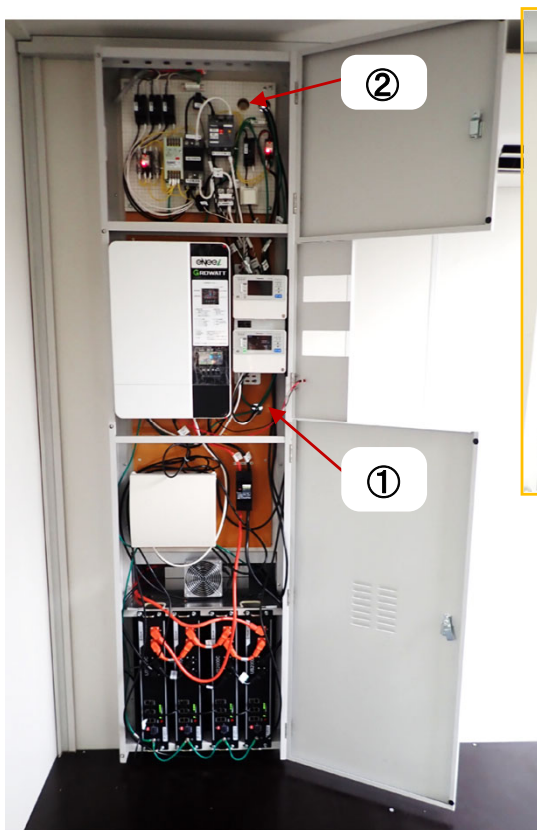
ハウス アース工事 D種接地工事

・ハウス室内 分電盤内にアースターミナルがあります。

ハウス設置時にアースターミナルよりD種接地アース工事を行ってください。屋外への配線出しは①か②から出して下さい

・エアコン 室外機にアース線が付帯しておりますので、アース工事を行ってください。

アースターミナル



アース線



室外機

■ ご使用上の注意



警告

- 積雪時には必ず雪下ろしを励行して下さい。建物の倒壊につながります。
- 台風、暴風が予想される場合、必ずトラクションワイヤによる強風対策を行って下さい。建物の倒壊につながります。
- 地震を感じた場合、建物から安全な場所へ避難して下さい。地盤等の変化により建物の倒壊につながります。
- 子供だけでの階段の昇降をさせないで下さい。転落事故の原因になります。
- 大雨等の後は地盤がゆるくなり建物の倒壊の可能性があります、使用する前に柱下、下駄下の支持状況を確認してから使用して下さい。
- 室内でのたき火等は絶対に行わないで下さい。火災の原因になります。
- 揮発性、発火性の物(シンナー、ガソリン、灯油、ガスボンベ、火薬類)は室内に持ち込まないで下さい。火災、爆発、中毒の原因になります。
- 建物の改造、分解は行わないで下さい。雨漏れ、倒壊につながります。
- 電気関連部分(分電盤、配電盤、コンセント、照明、換気扇)の分解、改造は行わないで下さい。火災、感電の原因になります。
- コンセントは定格出力を確認の上容量内で使用して下さい。(タコ足配線禁止) 以上発熱による発火の原因になります。



注意

- 太陽光パネルの上に物を載せないで下さい。破損の原因になります。
- 屋根の上に物を載せないで下さい。雨漏れの原因になります。
- 荷重が1点に集中するような重量物は室内に入れないで下さい。床の変形、陥没につながります。
- ハウス内の電気機器は交流100V以外では使用しないで下さい。火災、機器の故障、感電、発火の原因になります。
- 換気扇使用中は中に指やモノを入れないで下さい。故障、けがの原因になります。
- 換気扇の真下1m、横50cm以内での火器、湯沸器の使用は行わないで下さい。故障、火災の原因になります。
- 照明器具の真下では温度の高くなるもの(ストーブ等)を置かないで下さい。火災の原因になります。
- 何か異常を感じた場合速やかに電源を切して下さい。発火、火災、けが、故障の原因になります。

システム起動/シャットダウン/再起動



ソーラーシステム

モニターのみかた

エネルギーモニターのみかた

メニューを押すごとに液晶モニター画面の表示が切り替ります。



「現在」表示中は当月(当日)の積算値を表示
「現在」消灯中は過去の積算値データを表示

瞬時値 今現在の消費電力の大きさが確認できます。

積算値 これまでの消費電力量とCO2削減量の参考値が確認できます。
このメニュー内で「項目」を押すと
月別/日別/時間別のデータが確認できます。
(「<」で過去のデータが確認できます)

システムの起動

必ず蓄電池を先に起動してください。

①蓄電池を起動



STEP1
蓄電池4台のPOWERスイッチをすべてONにする

STEP2
一番左の蓄電池のSWボタンを長押しする

↓ 10秒程度待つ

②太陽電池を起動



白いボックスのふたをあけ
一番左の開閉器をONにする

システムのシャットダウン

①太陽電池をOFF



白いボックスのふたをあけ
一番左の開閉器をOFFにする

↓

②蓄電池をOFF



蓄電池4台のPOWERスイッチをすべてOFFにする

システムの再起動

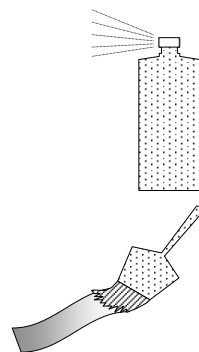
「システムのシャットダウン」をしてから「システムの起動」をしてください

ハウスを長くお使いいただくために

●塗装のメンテナンス

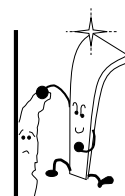
ハウスはフレームに鉄を使用していますので、傷ついたところは必ず塗料を塗り、錆の発生を防止して下さい。

錆がある場合は、きれいに錆を落としてから塗料を塗って下さい。



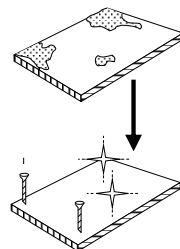
●パッキン材のチェック

長くご使用いただきますと、床材端部下のパッキン材がいたんできます。スキマ、雨漏れの原因になりますので、1～2年ごとに張り替えを行って下さい。



●床板の交換

床下からの湿気等により床板が傷んだ場合、床板はビスまた釘で固定してありますのでビスまたは釘を外して交換して下さい。

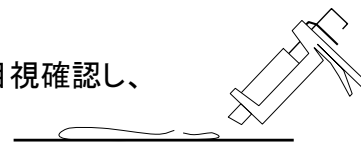


●吊上げ金具のチェック

吊上げ金具(アイボルト)が屋根の上に4ヵ所あります、変形、劣化等がないか常に確認して下さい。劣化してる場合は、交換して下さい。

●雨漏れチェック

室内に雨漏れ跡がある場合、屋根に穴、亀裂、変形が考えられます。屋根を点検し、シーリングに亀裂、剥離がないか指押し確認して下さい。または穴・変形などが目視確認し、異常のある場合、シーリング処理をおこなって下さい。



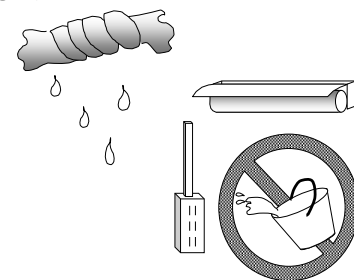
●掃除の方法

・ 内装の掃除には水または中性洗剤を少量混ぜた水を使用し、固く絞った布で拭くだけにして下さい。ブラシ等での洗浄は行わないこと。

・ ハウスの掃除にはシンナー、ベンジン、ガソリン、灯油などは使用しないで下さい。

表面コーティング材などが融けたり、剥がれて劣化します。

・ コンセント、換気扇、照明など電気関連部分の掃除は水をかけないで下さい。



●保管

・ 2段重ねでの保管は、1段目のハウス上にバタ角材を置き、ソーラーパネルを破損しない様に注意して2段目のハウスを重ね、強風による転倒防止のため必ずトラクションワイヤを張って保管して下さい。

吹きさらしの場所では行わないで下さい。

